

学生たち、雪のように真っ白で、かつ、可愛い！！(2/13)



まずは大人側から若者たちに発信し続けてくは……

自分の授業を終えた学生たちは、体育の授業か山形蔵王で3泊4日のスキー合宿とか。

蔵王からも数人からメール。中には、宿の内から携帯で撮した厳寒の蔵王の写真(上、右の写真)をそれぞれ添付送信してくれた学生も。

帰宅して直ぐに、次のようなメールを寄こしてくれた学生も。

【 無事帰宅しました。ウィンタースポーツに全く縁のなかった私ですが、今回スキー合宿に参加して本当に貴重な体験をさせていただきました。フトの乗り方など全く分らず、乗る前に転んで従業員さんを焦らせてしまったりと(笑)とにかく転んで転んでやっと滑れるようになって楽しいなど感じた頃に帰る時間はやってくるんですね。さびしいものです。

人生もそんなものなのかなあと一人でバスにゆられながら考えてきました。

挑戦していっぱい挫折して自力で起き上がらないと一人前にはなれませんよね。頑張らなくては(^_^)

話は変わりますが白ってとてもきれいな色ですね。雪の白がこんなにきれいだなんて気付きませんでした。

違う環境だと発見があって楽しいですね。白にかぎらず、自然の色はとってもきれいです!!

明日からまた補講です。おやすみなさい☆】

こうした学生たち、雪のように真っ白で可愛い！！

科目授業を通し、日頃のささやかなことから、自らの生活のし方、生き方を常に問うクセをつける努力することの大切さを語りかけていただけに、自分の授業とは関係なくこの学生の日頃から身についた感性からとは思いますが、HP「こうした感受性、才能は、失わずに持ち続けて欲しい(2/8)」に触れたように、「学生とて年齢相応に人生を考えたいのだ」という自分の持論の証かな。

そうした「考えたい」気持ち、願いにつき合ってくれる大人がいないために、今の子どもたちや若者たちは戸惑っているだけでないのかな～と、日頃から感じている。

それだけに、学生は無意識に自然体で書いたのであろうが、こうしたメール内容につき合ってくれるであろう大人の一人として自分を感じてくれたことが、何よりも嬉しくなる。

やはり、まずは大人側から若者たちに発信し続けていることが大事なよう。

- [「雑学BN」](#)
- [「雑学・フォトアルバム」](#)

